

# ヤンゴン市 (ミャンマー)



## シュエダゴン・パゴダ

ミャンマーの旧都、ヤンゴン市のシングッタヤの丘にそびえ立つ「シュエダゴン・パゴダ」は、約 2,500 年前に建てられたとされるミャンマー仏教の総本山です。全体は金箔で覆われており、さらにダイヤモンドやルビーなど 6,000 を超える宝石が散りばめられた数多くの仏塔や仏像は豪華絢爛で、国内外から多くの信者や観光客が訪れます。

福岡市が、昨年、ヤンゴン市と日緬間で初となる姉妹都市を締結し、2017 年 11 月 3 日、ヤンゴン市において姉妹都市提携 1 周年記念イベントが開催されました。



世界の地域から

# バンドルスリブガワン (ブルネイ・ダルサラーム)



## ジャミ・アス・ハサナル・ボルキア・モスク (ニューモスク)

石油や天然ガスなど多くの資源で潤う、ブルネイの富の象徴とも言えるのが、「ジャミ・アス・ハサナル・ボルキア・モスク」です。建物は大理石、ドームは純金製。ブルネイ随一の大きさを誇るイスラム寺院で、多くの国民が礼拝に訪れます。モスクの名前にも掲げられている現国王の即位 25 周年を目指して作られていましたが、内装にこだわりすぎたため、実際の完成はその 2 年後の 1994 年という逸話もあります。

2017 年は現国王の即位 50 周年にあたり、それを記念して水上集落 (カンボン・アイール) エリアに架けられたスンガイ・ケブン橋は地域の新たな名所となっています。